

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

白上下水工第0609002号

令和4年6月9日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿



提出者

住所 白杵市大字白杵72番1

氏名 白杵市役所 上下水道工務課

白杵市長 中野 五郎

電話番号 0972-64-0314

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	野津浄化センター
事業場の所在地	白杵市野津町大字宮原
計画期間	令和4年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	下水道終末処理場
② 事業の規模	
② 従業員数	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	終沈汚泥 ⇒ 移動脱水車 ⇒ 堆肥再生利用

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	1,038 t	t
	(これまでに実施した取組) ・濃縮槽により、減量化を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	排出量	2,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も、濃縮槽により減量化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和3年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	932 t	t
(これまでに実施した取組)			
・脱水機により減量化を図っている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,850 t	t
(今後実施する予定の取組)			
・今後も脱水機により減量化を図る。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	106 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	106 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・堆肥として再生利用を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	150 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	150 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も堆肥として再生利用を行う。 			
※事務処理欄			